

野菜栄養価コンテストで 最優秀賞を受賞したメロン

園農作深

農業法人の深作農園（茨城県鉾田市）では、「第10

回オーガニックエコフェスタ2021
最優秀賞を受賞したメロン部門」最優秀賞受賞



「第10回オーガニックエコフェスタ2021」のメロン部門で最優秀賞を受賞したメロンを販売開始した。オーガニック・エコフェスタは、これまで外見や規格で判断されが

ちだった野菜を、おいしさや栄養価、機能性などで評価できるような数値化したコンテスト。同農園のメロンは、栄養分析会社のデータベース平均値と比較して、抗酸化力は約1・3倍、ビタミンC含量は約1・4倍、糖度は約1・3倍と高い値となり、硝酸イオン含量は平均値より約1割低い値となった。また、食味評価は5段階中、最高評価の5となり「みずみずしくジューシーでとろりとした食感が良く、濃厚な甘味と旨味が口の中に広がり非常に

美味しい」との評価を得た。

メロンは本来ビタミン類を中心に栄養価が豊富な作物だが、糖度を上げるために水を切ると、光合成でブドウ糖を生成するための原料となる水が制限され、ビタミン類などの栄養価も下がってしまう。オーガニック・エコフェスタ事務局は、糖度も栄養価も高い同農園のメロンについて「水を切って味を濃くしたというのではなく、しっかりと葉に光合成をさせて、ビタミンなどの栄養成分をつくらせたことを意味している」とコメントを寄せた。HPは <https://fukasaku-melon.com/>